



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成25年 9月30日



団体名 王滝村

職 氏名 村長 瀬戸 普



王滝村は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

| 区 分 | 摘 要 |
|---------------------------|---|
| 取組の名称 | 「エネルギー地産地消の村」プロジェクト |
| 取組の主体 | 王滝村 |
| 取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合) | 王滝村 |
| 普及する自然 エネルギーの種別等 | 太陽光・水力・木質バイオマス |
| 取組の目的 | 分散型エネルギーシステム導入による地域振興 |
| 地域関係者との協働 の内容 | ※有の場合は、連携内容について記載 |
| プロジェクトの部門 | ①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他(場作りなど) ※該当する箇所に○をしてください。 |
| 取組(事業)の段階 | ①構想段階 ②実施段階 ③発展段階 ※該当する箇所に○をしてください。 |
| 取組の概要 | 地域バイオマスの産業化を目指すと共に村民意識の向上をはかり、発電施設の管理運営等についても地域住民が参画するエネルギーの地産地消の村づくりを推進する。 |
| 事務局担当者の 連絡先 | 担当者所属 企画財政課 氏名 丸山 文広 TEL 0264-48-2001 email kikaku@vill.otaki.nagano.jp |
| 備 考 | |

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。



| 区 分 | 内 容 |
|----------------|---|
| 取組の内容 | <p>当プロジェクトは、行政と地域住民・企業との連携による持続的・安定的な活性化を図るために、村に賦存する資源等の活用による地域振興ビジョンを策定しエネルギー地産地消の村づくりを目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構想策定までの取組 平成 25 年度 王滝村活性化基本構想策定（調査中） ・ 構想の内容 急峻で高低差の大きい地形、降水量が多いとした特徴があり、これを活かし小水力発電・公共施設等の屋根利用による太陽光発電・未利用木質バイオマス活用によるコージェネレーションの実用化を目指している。具体的な内容は次のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> 1 小水力発電 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業水路を利用した小水力発電 2 太陽光発電 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等の屋根利用による太陽光発電 3 コージェネレーション <ul style="list-style-type: none"> ・ ダム流木、間伐材、製材工場残材を活用した排熱利用による高効率バイオマス発電の研究 4 持続可能なシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス産業化を図り経済性が確保されたシステムを構築する |
| 取組を行うコミュニティの区域 | 王滝村内 |
| 構成員の役割 | （構成員の役割分担、執行体制について記載） |
| 現に活動しているかの有無 | 有 |
| 活動の成果等の帰属 | 王滝村民 |
| 普及推進体制 | |
| 取組の有効性 | 王滝は薪ストーブ等、現在でも木質エネルギーを活用しており、伝統的なエネルギー活用に新技術を加え、新しいエネルギー地産地消の村づくりを進めるためインフラや制度の整備のみでな |

| | |
|------------|---|
| | く、村民意識の向上をはかり、村民全員で誇りをもって王滝村のエネルギーシフトを進めることで、環境にやさしく災害に強いむらづくりが図れ、温暖化対策にも資する。 |
| 継続性及び発展性 | カーボンオフセット及び水と緑のふるさと基金制度（ふるさと納税）活用、FITによる売電等により活動費の確保が可能であり、地域のバイオマスを活用した地域循環エネルギーの強化と産業創出の実現性は高い。 |
| 関係法令の手続き状況 | 河川法等の協議に向けて流量調査を予定 |
| 団体設立年月日 | 年 月 日 |
| ホームページ | （URL を記載） |
| 備 考 | |

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。

